

千葉市学校教育推進計画

目指す子どもの姿 : 夢と思いやりの心を持ち、未来を拓く子ども  
 教育目標 : 自ら考え、自ら学び、自ら行動できる力をはぐくむ  
 「夢にチャレンジ 未来を拓け」すべての子どもたちの可能性を引き出す

学級・学年経営

- 明るく楽しい学校生活の基礎は学級づくり
- お互いを思いやる温かな人間関係づくり
- ・アセス検査の活用、教育相談の充実
- 全職員の取組による
- 「目指す学校像」・「求める生徒像」・「あるべき教師像」の具現化
- 生徒・保護者・教師の相互信頼関係の構築

○報告・連絡・相談  
 Footwork・Teamwork・Network の徹底から有機的に機能する教師集団

言語活動の充実

- 教科・行事等全ての場で言葉の力を育成(基礎的知識・技能から思考・判断・問題解決・表現へ)
- ・挨拶運動、朝の会から始動
- ・思いや意見等を自分の言葉で表現、相手を寛容する態度
- ・教師=よきモデル→絶対条件
- ・掲示物は指導の記録及び生徒の成長の経過の可視化
- ・ギガタブの効果的な活用(伝わるコミュニケーション力)

学力向上推進

- 学習規律の徹底、規範意識の向上
- 「学ぶとき大切にしたいこと」
- 「教えるとき大切にしたいこと」を活かした授業づくり
- 「朝読書」「教育相談日」等の内容充実と実践の徹底

「心」の育成

- 基本的生活習慣の確立、規範意識の向上
- ・生徒同士の声のかけあい
- ・日常からの積極的生徒指導
- ・教育相談による生徒理解
- ・生徒の心を理解した指導と毅然とした指導のバランスを図る。
- ・スクールカウンセラーの活用
- ・部活動指導の充実

道徳・特活・総合

- 道徳的実践力の育成
- ・教科指導の充実(R1~)
- ・規範意識、自他の生命尊重(弁護士による人権教育の実践)
- ・生徒集会、生徒会活動、行事等への主体的参画と運営
- ・生き方を考える場と時の設定
- ・相互理解を図る活動
- 3年間の系統性・体系の構築
- ・ボランティア活動の推進

教科指導の向上

- 基礎・基本の習得・定着、活用までの学びの広がりと深化
- ・指導計画、内容、評価評定基準の見直しと改善
- ・校内研修の充実、市教研等校外研修への積極的参加
- ・ICTの積極的な活用(例 タブレット、電子黒板、TV等)
- ・ペアワーク、グループワーク等による多様な学習形態の活用、アクティブラーニング等、タイムリーな研修
- ・特別支援教育的視点をもった指導
- 「これができない」→「ここまでできた」
- 「困った生徒、親」→「困っている生徒、親」
- 「褒めるためのめあて」「具体的な言葉」

一人一人の生徒が自分らしく輝く学校

加中でよかった友と出会えてよかった  
 加中で学んでよかった

キャリア教育の充実

- キャリア教育の推進
- ・進路、将来を主体的に考える力の育成
- ・自立を目指し、キャリア発達を促す指導
- キャリアパスポートの活用
- 体験的学習実施
- ・職業調べ、地域訪問
- ・職場体験
- ・上級学校訪問

開かれた学校

- 保護者・地域の方々の学校への理解・協力
- ・授業参観、各行事の公開
- ・保護者会、部活動説明会
- ・学校自由参観の充実
- ・学校便り等による情報発信
- ・HPの活用と内容の充実
- ・小学校6年生の学校見学
- 「学校も地域の一員」として地域行事へ参加
- ・地域訪問等
- 学校評議員とのパートナーシップの充実
- 学校評価の実施と公開
- ・生徒、保護者によるよりよい学校づくりのためのアンケート実施
- ・学校関係者評価実施
- ・評価結果をもとに教育活動の改善

危機管理

- 生徒の生命を最優先
- ・防災、防犯訓練、薬物乱用防止教室、ネット安全教室、思春期教室による啓発活動、関係諸機関との連携
- 情報管理の徹底
- 減災・避難等に係わる地域・行政との連携
- 保護者・地域との連携
- ・こども110番のいえ
- ・セーフティーウォッチャー
- ・挨拶運動
- ・すぐーるの活用

新しい取組

- キャリア教育の研究指定校としての実践成果を生かす
- 校舎内外の環境整備
- 災害対応(廃材の活用)
- 部活動の地域移行への模索